

三段峡 概要

柴木川沿いにある全長 16km の三段峡は手付かずの自然が最高の状態で存在しています。安芸太田町の西北にあるこの峡谷は西中国山地国定公園の一部で、文化庁によって特別名勝に指定されています。日本でこの指定を受けている峡谷は 6 か所しかなく、その中でも西日本にあるのは三段峡ただ一つです。

自然の保全と保護に対してこの場所では真剣な取り組みがおこなわれていますが、観光客は峡谷を勢いよく流ていく水を背景にしながら、周囲よりも高く作られた遊歩道や舗装された歩道を行くことで、峡谷美を直接体感できます。この遊歩道は生態系を乱さないように設計されています。ウォーキングコースは初心者から上級者向けの一日がかりのトレッキングまで多岐にわたります。また、ハイカーは自らのレベルに応じた適切なコースを選ぶことが推奨されています。黒淵や猿飛に向かう船に乗ることで、観光客は巨大な崖と手付かずの森を水上から観察できます。

三段峡周辺の森林は太古の針葉樹と常緑樹とが混生しています。日本には 1,800 種類を超えるコケが存在していますが、そのうちの約 6 分の 1 を三段峡遊歩道で見ることができます。三段峡にある高い崖と階段状の滝は中国の風景画 (山水画) を彷彿とさせます。そういった景色が写真家の熊南峰 (1876 年 - 1943 年) など、初期の探検家らに三段峡の美観を保護しようという気持ちを生じさせました。

三段峡の高い湿度が春、夏、秋という 3 つのハイキングシーズン全てにおける豊かな植生を生み出しています。景色は夏の青葉の頃や秋の紅葉シーズン中に特に美しくなります。三段峡は五感全てを使うことで最もよく体験できます。つまり、水が激しく流れる音や風が古い大木の周囲を吹き抜ける音を聞き、森林から出る松のオーガニックな香りを嗅ぎ、新鮮な水や落ち葉に触れ、心地よいきれいな空気を味わい、そしてもちろん、その美しさを間近で見るということです。広島市からバスに乗ってわずか 75 分で行ける三段峡は唯一無二の特別な場所で、ここでは観光客が自然にどっぷりと浸ることができます。